

中国近现代 朝鲜族教育发展研究

近現代における中国朝鮮族教育発展研究

尹贞姬 著



大连理工大学出版社

近現代における中国朝鮮族教育發展研究

中国近现代 朝鲜族教育发展研究

尹贞姬 著

大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

中国近现代朝鲜族教育发展研究/尹贞姬著. —大连:
大连理工大学出版社, 2009. 5

ISBN 978-7-5611-4820-4

I. 中… II. 尹… III. ①朝鲜族—少数民族教育—研究—
中国—近代 ②朝鲜族—少数民族教育—研究—中国—现
代 IV. G759.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 064933 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 邮购:0411-84703636 传真:0411-84701466

E-mail:dlutp@dlutp.cn URL: <http://www.dlutp.cn>

大连金华光彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:140mm×203mm	印张:11.75	字数:290 千字
2009 年 5 月第 1 版	2009 年 5 月第 1 次印刷	

责任编辑:王佳玉	张 凡	责任校对:春 晓
封面设计:孙宝福		

ISBN 978-7-5611-4820-4

定 价:30.00 元

目次

中国の学校系統図	1
吉林省及び延辺朝鮮族自治州の地図	4
序章 本論文の目的と議論の枠組み	
第1節 研究の背景	7
第2節 研究の目的と課題	15
第3節 中国における「民族」の概念及び少数民族教育の定義	17
第4節 研究の範囲と限界	22
第5節 研究の方法と特色	25
1. 従来の研究方法と問題点	25
2. 新しい研究方法と特色	30
①文献分析	37
②現地調査	38
第6節 論文の構成	40
参考文献	45

第一部 中国朝鮮族教育の誕生及び朝鮮族教育の変化

第一章 中国朝鮮族教育の誕生

——「民族教育運動史の中に見る中国延辺の朝鮮族」——

はじめに	50
第1節 移住初期の延辺朝鮮人の教育	51
1. 旧式封建書堂教育(19世紀半ば～1905年)	51

2. 中国延辺の朝鮮人における近代教育の発足(1906年～1919年)……	52
第2節 日本帝国侵略下における延辺地域の朝鮮人教育 ……	54
1. 朝鮮併合から「九一八事変」までの朝鮮人学校に 対する中国・日本側の対応(1910年～1931年) ……	54
2. 「九一八事変」から1945年までの日本政府側による 同化教育(1931年～1945年) ……	57
第3節 国共内戦期における延辺朝鮮人の教育——民族教育の 復活及び教育体系の整備 ……	60
第4節 社会主義建設下の延辺朝鮮族教育 ……	63
1. 社会主義建設過渡期における朝鮮族教育(1949年～1956年) ……	63
2. 政治動乱期における延辺朝鮮族教育(1957年～1976年) ……	67
終わりに ……	74
参考文献 ……	78

第二章 市場経済と延辺朝鮮族教育の変容

はじめに ……	81
第1節 市場経済と延辺朝鮮族の人口移動 ……	83
1. 激しい人口移動 ……	83
2. 市場経済と延辺の変化 ……	88
①少数民族地域と民族経済 ……	88
②延辺における経済産業構造の変化 ……	89
第2節 人口移動による朝鮮族教育の変化 ……	92
1. 教育環境の変化 ……	93
2. 教育内容の変化 ……	98
3. 教育政策の変化 ……	99
終わりに ……	101
参考文献 ……	104

第二部 現代中国朝鮮族教育の展開

第三章 現代中国朝鮮族における言語問題と学校選択

——「教育言語環境」——

はじめに	108
第1節 先行研究の検討と研究方法	110
第2節 中国朝鮮族における言語使用の実態——延辺地域を 中心に	114
第3節 延辺地域の朝鮮族における言語選択の規定要因	118
1. 中国の国内要因	118
2. 国際的要因	122
3. 朝鮮族の内部要因	124
第4節 学校文化・階層・家庭文化と朝鮮族側の学校選択	126
1. 学校文化と学校選択	130
2. 階層と家庭文化	132
3. 階層と学校選択	136
4. 家庭文化と学校選択	137
終わりに	139
参考文献	142

第四章 中国朝鮮族学校における教育課程

——「教育内容」——

はじめに	144
第1節 中国朝鮮族小中学校における授業計画	147
1. 現行の授業計画の制定	147
2. 教育課程の概要	148
3. 漢族学校と朝鮮族学校における教育課程の比較	152

第2節 中国朝鮮族学校における教科書	161
1. 朝鮮族学校の教科書に関する規定	161
2. 教科書内容の基準	163
3. 朝鮮族学校における独自編纂教材	164
終わりに	170
参考文献	175

第五章 朝鮮族学校における教育財政

——「教育財政政策」——

はじめに	177
第1節 市場経済導入後の民族学校に対する教育財政政策	179
1. 中国における新しい教育財政体制の発足	179
2. 少数民族に対する1990年代の中国の教育財政政策の変容	186
3. 民族学校における新しい教育財政制度の特徴	189
第2節 市場経済化による朝鮮族学校の教育財政の変容	192
1. 朝鮮族学校における教育財政の仕組み	193
2. 市場経済化による朝鮮族学校の教育費不足の実態	195
① 国家財政補助金	197
② 学校財政と教員給与	201
③ 学生からの納付金	203
3. 朝鮮族学校側における新たな教育費調達を試み	207
① 「勤工儉学」	207
② 社会からの寄付金	210
終わりに	211
参考文献	215

第六章 中国朝鮮族学校における民族教員の役割

——「教員養成政策」——

はじめに	217
------	-----

第1節 中国における民族教育改革の基本戦略と朝鮮族教員 の実態との乖離	220
第2節 中国における朝鮮族教員養成の教育政策	228
1. 朝鮮族教員養成制度の改革	228
2. 現職教員の研修の強化	234
3. 朝鮮族高等師範学校における教学改革	235
4. 教員資格の法規化	242
第3節 朝鮮族教員養成の課題と葛藤	244
1. 師範教育発展に見られる地域差	245
2. 人気の低い教職	246
3. 教員養成制度の閉鎖性と「学歴研修」	248
終わりに	249
参考文献	253

第三部 中国朝鮮族教育の課題

第七章 「民族自治」の中国朝鮮族教育

第1節 「民族政策」と「優遇」	258
1. 三つの教育変容	258
2. 三者の関連構造	264
3. 「民族政策」と「優遇」	267
第2節 「優遇」と「統合」の狭間で揺れる朝鮮族側の選択	270
1. 教育言語環境の「統合」と朝鮮族側からの漢語強化の要請	270
2. 教育財政制度の「統合」と朝鮮族側の「自力更生」	272
3. 民族教員養成と「統合」	273
4. 朝鮮族と中華民族	274
終わりに	276
参考文献	277

第八章 中国朝鲜族教育のあり方

第1節 中国朝鲜族教育を取り巻くグローバリゼーションの功罪 …	278
第2節 中国朝鲜族教育の課題 ……………	284
参考文献……………	292

巻末資料

巻末資料 1. 延边教育年表……………	296
巻末資料 2. 延边朝鲜族自治州行政区画……………	317
巻末資料 3. 教育関係対象者インタビュー対象者リスト……………	321
巻末資料 4. アンケート調査概要……………	322
巻末資料 5. 引用・参考文献資料……………	351
あとがき……………	361

図表一覧

第一章

図1-1 延辺地域の日本占領時期と国共内戦時期における 教育状況の比較	61
表1-1 1928年中国延辺地域における朝鮮人の教育状況	57
表1-2 1957年と1958年延辺地域における朝鮮族学校教育 の発展状況比較	68

第二章

図2-1 朝鮮族と漢族及び少数民族における人口増加率の比較	83
図2-2 延辺地域における漢族と朝鮮族の割合	84
図2-3 延辺から韓国・日本への出国者数推移	87
表2-1 延辺地域における漢族と朝鮮族の割合	84
表2-2 延辺州(県、市)の経済指標(1999年)	88
表2-3 延辺における地域別朝鮮族小中学校数の変動状況	94

第三章

図3-1 延辺地域漢族小中学校における朝鮮族生徒在籍者数 の変化状況	129
図3-2 学校文化と学校選択	131
図3-3 階層と民族意識	133
図3-4 階層と家庭使用言語	134
図3-5 階層と家庭の情報量	135
図3-6 階層と経済文化	136
図3-7 階層と学校選択	137

表3-1	言語使用状況の調査地域と選ばれた都会と農村地域	113
表3-2	延辺地域の朝鮮族における日常用語の使用状況(2004年)	117
表3-3	延辺地域における言語理解に関する抽出調査	121
表3-4	学校文化と学校選択	138

第四章

図4-1	朝鮮族学校と漢族学校における週間授業時数の比較	155
表4-1	朝鮮族学校における「学科類課程」と「活動類課程」対照表	149
表4-2	朝鮮族学校における各教育活動の年間配当時間	152
表4-3	6-3制全日制朝鮮族・漢民族小中学校教育課程における 各科目配當時数の比較	153
表4-4	朝・漢両学校の教科別時間数割合の比較(%)	156
表4-5	朝鮮族学校における朝鮮語と漢語の週間授業時数の差	158
表4-6	国語授業時数の朝・漢比較(小・中)	158
表4-7	朝鮮族小学校における独自編纂教材の中で民族内容が 占める割合	166
表4-8	「洛東江」原文と現行の朝鮮語教科書に採録された「洛 東江」文の比較	167

第五章

図5-1	中国における予算編成	182
図5-2	国家教育経費支出額の推移	185
図5-3	2002年全国教育経費	190
図5-4	延吉市と安図県における国家財政援助金収入の変化状況	198
図5-5	延辺州の一般会社員における1993年と2003年の年間平均 給与の比較	202
図5-6	2003年延辺地域における国有企業の職員と郷鎮企業の 職員における年間給与比較	202

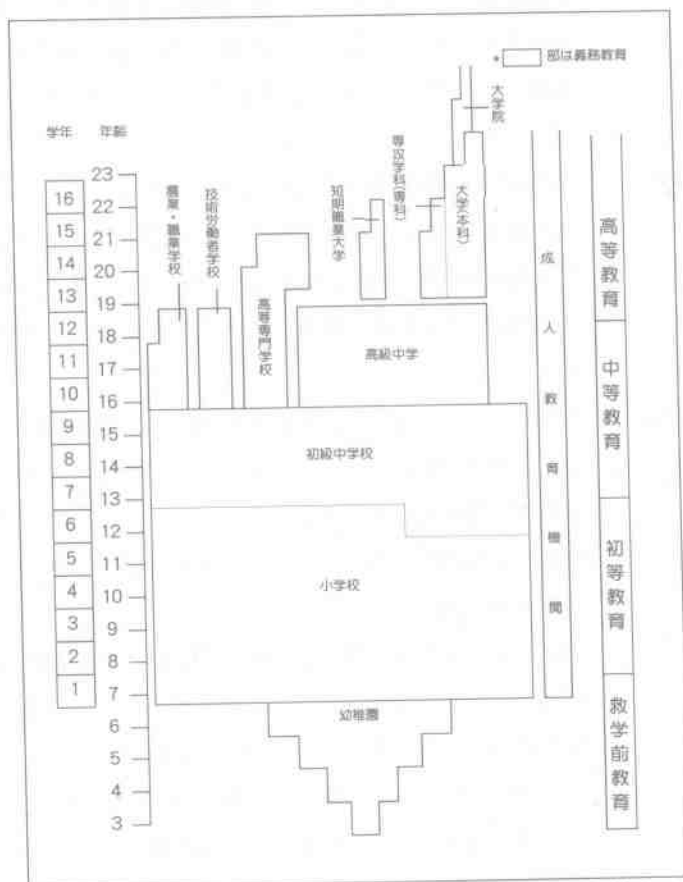
表5-1	2004年中国の小中学校における中央と地方別の教育 経費負担の割合(億元)	183
表5-2	国家財政支出に占める教育費の割合	185
表5-3	2001年中国における学校種類別教育費財源割合の比較 (億元)	191
表5-4	延辺州(県、市)の経済指標(2002年末)	199
表5-5	2004年延辺州における義務教育段階の「一費制」の徴収 基準	205
第六章		
図6-1	2003年全国及び延辺地域の朝鮮族小中学校における教員 の学歴比較	225
図6-2	中国における朝鮮族教員のレベル別研修機関	235
表6-1	2003年専任教員の学生負担数における延辺朝鮮族学校と 全国平均の比較(人)	222
表6-2	2004延辺地域の教育段階別における教科別不足教員の 状況(人)	223
表6-3	2003年全国及び延辺地域の朝鮮族小中学校における教員 の学歴比較	225
表6-4	2003年延辺地域朝鮮族教員における国家规定学歴合格者 の割合	226
表6-5	2003年延辺地域の朝鮮族学校における専任教員の変動 状況	227
表6-6	延辺大学の師範専攻調整前後における師範専攻の学生 募集数の変化	232
表6-7	各学院における師範専攻の割合及び師範専攻学生数の 割合	232

表6-8 延辺大学師範学院朝鮮言語文学教育学部における 必修科目の週間配當時数	239
表6-9 総授業時数の中に占める各科目の割合	241
表6-10 総授業時数の中に占める必修及び選択科目の割合	241
表6-11 延辺地域における一般公務員と小中学校教員の 平均給与比較(2002年)	247

第七章

図7-1 教育に関する三つの領域の関連構造	264
図7-2 民族教育における国家側と朝鮮族側の対応	275
表7-1 朝鮮族教育における三つの変容	259

中国の学校系統図



出所：文部省大臣官房調査統計企画課刊 『諸外国の学校教育（アジア・オセアニア・アフリカ編）』

- 就学前教育 幼稚園(幼兒園)または小学校付設の幼児学級で、通常3～6歳の幼児を対象として行われる。
- 義務教育 9年制義務教育を定めた『義務教育法』が1986年に成立し、施行された。実施に当たっては、各地方の経済的文化的な条件を考慮し、地域別の段階的实施という方針が採られている。9年制の義務教育が実際に行われていない地域もまだ多く、本格的に実施されたのは90年代の半ばごろである。
- 初等教育 小学校は、7歳入学、6年制である。一部の都市では、6歳または6歳半入学も実施されている。現在、農村部を中心にかなりの地域では5年制となっているが、これらの地域では今後も5年制を継続し、初級中学を4年とする方向にある。
- 中等教育 初級中学(3～4年制)卒業後の後期中等教育機関としては、普通教育を行う高級中学(3年制)と職業教育を行う中等専門学校(原語「中等專業学校」、一般的に4年制)、技術労働者学校(原語「技工学校」、一般的に3年制)、農業・職業中学(2～3年制)などがある。
- 高等教育 大学(原語「大学・学院」例えば延辺大学や延辺農業学院)には、学部レベル(4～5年制)の本科と短期(2～3年制)の専科とがあり、専科のみの学校を専科學校と呼ぶ。また、近年地方都市が設置する専科レベルの短期職業大学がある。大学院レベルの学生(原語は「研究生」)を養成する課程・機関(原語「研究生院」)は大学及び中国科学院、中国社会科学院などの研究所に設けられている。

- 成人教育 上述した全日制教育機関のほかに、労働者や農民などの成人を対象とする様々な形態の成人教育機関(原語は「業余学校」、「夜間・通信大学」、「広播・電視(ラジオ・テレビ)大学」)が開設され、識字訓練から大学レベルの専門教育まで幅広い教育・訓練が行われる。
- 教員養成 小学校教員は中等師範学校で養成される。中等師範学校は中等専門学校のひとつで、就学年限は3～4年である。初級中学教員は就業年限2～3年の師範専科学校で、高級中学教員は就学年限4～5年の師範大学で養成される。師範専科学校および師範大学の入学者は高等教育機関の全国統一入試によって選抜されるが、優秀な学生確保のため、近年では、全国統一入試に先駆けて師範だけの単独入試を実施している地方もある。

民族教育機関における教育システムも基本的にこれらの制度と変りはない。但し、ここで注意が必要なのは、民族小学校、初級中学、高級中学では日本同様、様々な教科・科目を学ぶのであるが、本論文で特に論点としているのは、その中の言語科目である。日本で中国語と呼ばれる言語は漢語であるが、それは科目としては「語文」という名称になる。これを科目名としては「国語」と訳してもよいのだが、朝鮮族教育を対象としている本論文では、朝鮮族が学ぶ漢語科目である「漢語」と彼らの母語を学ぶ「朝鮮語」があるため、「国語」と訳すと誤解や混乱を生じることになる。そのため、本論文ではそれぞれ「漢語」科目、「朝鮮語」科目として用いる。

1. 吉林省概況

